

# LMC銅相場のトレンドは「ベア」か

## 為替は横バイ、円高の予測―第88回COMC声明

- 第88回 九月のCOMC声明**
- ① 電気銅建値予測 六一〇～六五〇円
  - ② 銅相場のトレンド ベア
  - ③ LME銅セツル予測 五、三〇〇～五、七〇〇ドル
  - ④ 為替トレンド予測 横バイ、円高
  - ⑤ ドル円予測 (ITM) 一〇四～一〇七円
  - ⑥ スクラップ景況感

⑥ スクラップ景況感  
いわゆる夏枯れで品物不足 更に人手不足 人件費高騰とのこと

### 【概況】

今回のCOMCにおいては  
米中貿易戦争の動向悪化について意見がでた。

米国は中国に対し一日、約一、一〇〇億ドル(約一兆七、〇〇〇億円)相当の中国製品への追加関税を発動、対抗措置として中

## 専門問屋、買い唱えを五円引き上げる動き

ステンレス原料

### 輸出業者の買い値引き上げの動きに追随

関西ステンレス原料市場では、専門問屋が買い唱えを五円引き上げたこととされており、市況は五円上伸している。値上げの実施は早い

向きで八月二十六日頃からとされ、この動きに月明けにかけて追随する動きが広がったこととであり、専門問屋の買い唱えは一八―八新断で一〇五―一五円どころ、ダライ粉で八五―九五円どころとなった模様。

納入筋によると、「国内のステンレスメーカーは買い値を上げていないとされるものの、輸出業者が値上げをしたことで、国内向けの専門問屋も追従せざるを得なくなった格好」とのことである。スクラップの発生そのものはもう一つ少ないとされるが、国内ステンレスメーカーのスクラップの買い気はあまりなく、専門問屋によってはモノが積み上がりつつある向きもあるとされる。前出の納入筋は「専門問屋にとっては、買い唱えを上げたくなかったというのが本音だろう」としている。

鉄原料

## 東鉄が宇都宮で五百円下げ

その他の工場と高松は据置き

電炉最大手・東京製鉄八月三十一日、宇都宮工場鉄原料の購入価格を引き下げた。値下

国の報復措置も発動された。約七五〇億ドルの米国製品が対象で段階的に実施。

中国政府が米国との貿易問題で協議に前向きと受け取れる姿勢を見せる一方で、トランプ米大統領が企業収益への制裁関税の影響を軽視する発言をツイッターに投稿するなど、解決の目途はまだまだ立たないとの認識。これらを踏まえ、当委員会としては、「ベア」の予想。

### 【議長】

橋本健一郎(橋本アルミ)

### 【委員】

- 荒井義明(荒井明商店)
- 角井聡一郎(角井地銅商店)
- 勅使河原孝行(テシ商店)
- 棚町祐次(IRユニバース)

幅は一律・トン五〇〇円。同社での値下げは八月二十九日以来。田原、岡山、九州の各工場と高松鉄鋼センターは今回は据え置かれた。

今回の動向を受け、同社の特級価格のレンジについては二万二、〇〇〇～二万六、〇〇〇円と、上値が五〇〇円切り下がった。

なお、東京製鉄の特級価格は、次の通り(トシ当り・円)。

- ▽田原工場(陸・海上) 〓二万五、五〇〇
- ▽岡山工場(陸・海上) 〓二万三、五〇〇
- ▽九州工場(陸・海上) 〓二万四、五〇〇
- ▽宇都宮工場(陸上) 〓二万六、〇〇〇
- ▽高松鉄鋼センター(陸上) 〓二万二、〇〇〇

### 九月前半の銅合金地金の標準販価<sup>近畿青銅会</sup>

近畿青銅会は二日、九月前半の銅合金地金の標準販価について、次の通り決定した。

- ▽青銅CACIn四〇一 〓 七一〇(二〇円安)
- ▽青銅CACIn四〇二 〓 八六五(三〇円安)
- ▽青銅CACIn四〇三 〓 九〇〇(三〇円安)
- ▽青銅CACIn四〇六 〓 七六〇(二〇円安)
- ▽青銅CACIn四〇七 〓 七八五(五円安)
- ▽黄銅CACIn二〇三 〓 六二五(二〇円安)
- ▽鉛青銅CACIn六〇三 〓 八七〇(三〇円安)
- ▽鉛青銅CACIn五〇二 〓 九二〇(三〇円安)